

年 組 名前：

## 鵜サブレー いかが 笛吹「鵜飼」の土産開発



鵜飼い開始に合わせて発売した土産品の「鵜サブレー」  
＝笛吹市役所

笛吹市観光物産連盟と石和温泉街の活性化事業に取り組み「まちづくり石和」（鶴田真也代表）は、同市石和町市部の笛吹川で行われている夏の風物詩「笛吹川石和鵜飼」に合わせ、土産品「鵜サブレー」を開発した。

笛吹川の鵜飼いを知ってもらおうと企画した。同連盟とまちづくり石和によると、サブレーはアユを捕まえた鵜を表現し、甘みがあり濃厚な味わいが特徴。笛吹川の鵜飼いは鵜匠が舟に乗らず川の中を歩いて鵜を

操る「徒歩鵜」と呼ばれる伝統漁法の「勝ち鵜」と掛けて勝利や合格などの縁起物としての意味も込められているという。

1枚250円で、4枚入りの箱入りは千円。鵜飼いは17日までの水、木、土、日に実施し、会場で購入できる。市内の観光施設などでも通年で販売する予定。

同連盟の担当者らは「石和の鵜飼いを知ってもらい、鵜サブレーが多くの人に親しまれてほしい」と話し

〈鈴木なつ美〉

(2025年8月1日付 山梨日日新聞 23面)

問1 笛吹市観光物産連盟などが開発した「鵜サブレー」は、どのような形をしていますか。

.....

問2 笛吹川の鵜飼いは、「徒歩鵜」と呼ばれる伝統漁法です。その手法を教えてください。

.....

問3 鵜サブレーの販売名と、その販売名を付けた理由を教えてください。

販売名: .....

理由: .....